

9 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会における奥田智子県議の質疑

2014年10月8日

Q. 奥田委員

文化振興基金の残高が約4億6,600万円あるということだが、県の文化振興基金について、もっと積極的に活用されると良いと考えている。基金による助成制度をどのように周知しているのか伺いたい。

A. 文化振興課長

県文化振興基金を活用した助成事業は年3回募集しており、市町村への資料提供、報道発表の実施、県ホームページや彩の国だよりへの掲載などにより周知している。加えて、県内全ての公民館で事業案内を配布している。また、市町村の広報誌への掲載を依頼しており、現在20市町で掲載されている。さらに、ミニコミ誌にも掲載してもらうなど、様々な広報活動により、助成団体に制度のことがしっかり伝わるよう周知徹底に努めている。

Q. 奥田委員

ホームページによる広報については、見ようと思って見る人は少ない。文化活動により、元気に年を取ることができると思うので、広く県民に周知することが重要である。知恵を集めながら、努力をお願いしたい。

A. 文化振興課長

頑張っていく。